

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称		111地域で支えあう福祉社会の形成					
施策のねらい(めざす姿)		すべての市民が、地域で支えあい、助けあいながら生活しています。					
基本目標		1「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして	施策担当マネージャー	健康福祉部次長			
政策		11誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります	マネージャー氏名	斉藤 薫			
I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)							
①前回の評価で掲げた内容	地域ネットワークの形成の支援により、市民と事業者と行政の役割分担を理解した上で連携を強化していく。	③改革・改善内容	少子高齢化や人間関係の希薄化が進む中、誰もが住み慣れた地域で安全安心して暮らせるよう、「支えあい」「助け合い」の関係・しくみを構築していく必要がある。				
②①に基づく取り組み結果	地域において地区社会福祉協議会を核とした各種福祉事業の展開や民生委員児童委員による支援等に取り組んだ。						
II 施策の目的・概要							
①目的	対象	すべての市民	意図(対象をどうするのか)	地域で支えあい、助けあいながら安全で安心して生活できるようにする。			
②施策の概要		すべての市民が、地域で支え合い、助けあいながら安全で安心して生活できるよう、地域福祉活動や健康福祉サービスの利用促進、地域ネットワーク組織の構築、バリアフリー化などの各種事業を推進し、地域で支え合う福祉社会をつくる。					
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)		少子高齢化や核家族化の進行により、これまで家庭、家族が担ってきた福祉を行政がすべて担うことが困難となっており、地域での市民、事業者、行政ができることを考えながら役割分担を行い推進していく必要がある。					
III 事務事業の成果やコストの状況							
①平成25～26年度の施策の成果		社会福祉協議会補助金の交付、民生委員児童委員の活動支援、福祉健康フェア、バリアフリー化の推進などを実施し地域福祉の推進が図られた。					
②施策成果指標	指標名称		単位	平成24年度	平成25年度	平成26年度	目標値(27年度)
	i	福祉環境満足度(市民意識調査)	%	—	15.2	—	13.0
	ii	ボランティア登録団体会員数	人	1,421	1,397	1,317	1,550
	iii						
③基本事業成果指標	i	ボランティア登録団体会員数	人	1,421	1,397	1,317	1,550
	ii	ボランティアでの実施サービスメニュー数	件	44	46	45	55
	iii	市ホームページ掲載の健康福祉情報数	件	4	4	4	4
	iv	健康福祉に関する啓発メニュー数	件	2	3	3	2
	v	地域ネットワーク組織数	組織	0	0	0	1
	vi	バリアフリー化に関連する事業数	件	6	8	9	6
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費		平成25年度決算	平成26年度決算	市民一人あたり事業費(26年度決算)		平成27年度予算	
事業費(千円)		171,051	240,766	(単位:円) 2,216 円		108,608	
IV 評価・検討							
①課題(目的に対する現状など)		生活しやすい地域の実現には、社会福祉団体やボランティア等と協力しながら地域を支えていかなければならないが、地域のつながりや人間関係の希薄化により福祉の担い手が不足している。また、援護を要する高齢者などの増加が予想され、市と地域が補い合いながら地域で見守り支えていく必要がある。					
②総合評価		3一部未達成	③総合評価の理由			成果指標については目標に達したものもあるが、ボランティア登録団体会員数の増加や地域ネットワークの構築など引き続き取り組み、今後も成果指標の向上に取り組んでいく必要がある。	
V 今後の方向性							
①成果の方向性		↑ 向上		②コストの方向性		↑ 増加	
③特に重点化する事務事業		地域福祉に要する経費					
④上記方向性の説明		地域での支え合いは地域福祉の担い手が必要であり、担い手の育成には地域における自治会等関係団体の協力など地域での連携を育っていくことが必要となる。また、災害時などに援護を要する方に対し、地図情報等を含めた管理システムを導入し、庁内関係部署や、消防、自治会、民生委員等の間で支援情報を共有することにより、「地域ぐるみ」での支援体制を推進していかなければならない。					